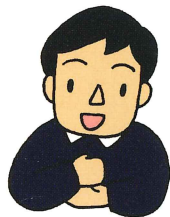
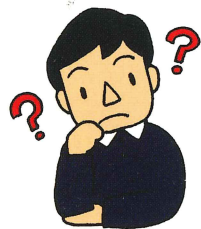


なるほど

ぶつ じ 仏事



じょう ど しん しゅう ほん がん じ は びん こ きょう く
浄土真宗本願寺派備後教区
きょう く じ きょう すい しん い いん かい
教区事業推進委員会

第9回

焼
香

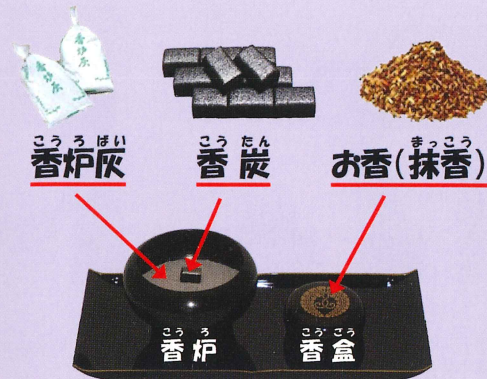
しょう こう お 焼 香

お香をたくことをお焼香といいます。
阿弥陀さまへのお敬いのところを
お香をお供えし、合掌・礼拝する作
法であらわします。

香炉には火をつけた香炭こうたんを入れてお
香をたきます。(お焼香の準備参照)

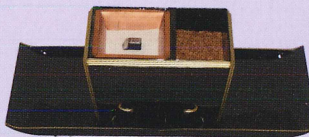
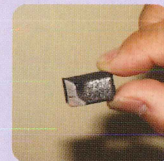


お焼香の準備



香炭の火が消えますので、香炉灰の代用品
として、ガラス・ビーズ・砂などは使いません。

法事(仏事)が始まる10分前には
香炭に火をつけて準備しましょう



香炭の火は30分程度もちます。

浄土真宗本願寺派のお焼香

①焼香台の前で
軽く一礼

②お香をつまむ

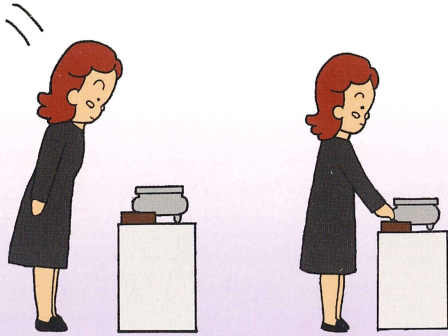
③お香をたく

④合掌・お念仏

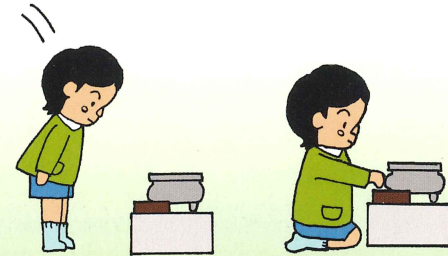
⑤礼 拝
らい はい

⑥後ろに下がって
軽く一礼

立って焼香
(葬儀など)



座って焼香
(本堂など)



回し焼香
(自宅など)



お焼香は1回
です。複数回
しません。



なもあみだぶつ
だぶつ



なもあみだぶつ

声に出して
お念仏
申しましょう。



お香は額に押
しいたきま
せん。

